

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

都道府県名	07_福島県
市区町村名	07208喜多方市
自治体区分	

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状値	単位	目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）	目標等の公表先
07208喜多方市	①学校運営上の課題	05 その他	中学校の部活動において、生徒数減少に伴う教職員配置数の減少により、推奨されている顧問の複数配置が難しい状況にあり、教員1人あたりの負担が増している。また、本市では部活動の地域への完全移行には至っていないため、放課後や休日の部活動従事が大きな負担となっている。	部活動支援員派遣事業の拡充を図る。	部活動支援事業の実施種目数が増加することにより、教職員の負担軽減につながっているため、当該事業を推進する。	部活動支援員の派遣を通じて生徒の見守りや教員のサポートを行い、教員の負担軽減や安全面の確保へとつなげる。	部活動支援員派遣事業実施種目数（部活動数）	10	件	15	12	02 本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められる。 昨年度より部活動支援員の派遣部活動数は増加したが目標とする数値には届かなかった。（目標達成率8割） 目標未達成の原因としては、部活動の廃部や部活動支援員の活動休止、部活動支援員の新規雇用数が少なかったことが要因として挙げられる。 アンケート調査では部活動支援員を派遣してる部活動の先生の負担軽減や子供たちの満足度が高い傾向にあるため、今後も継続する。 今後は人材バンクの運用を進めると共に新たな人材発掘に取り組む。 また、本市の部活動支援員は運動部のみのため、運動部だけでなく文化部における部活動支援員の派遣ができるようアプローチする。	https://www.city.kitakata.fukushima.jp/soshiki/syougaku/62833.html https://cms.city.kitakata.fukushima.jp/uploaded/attachment/57625.pdf
07208喜多方市	②学校と地域の課題	05 その他	地域の担い手が減少しており、地域文化等の継承が困難な状況にあるため、幅広い世代（若年層）の参画や体験機会の増加が求められる。	地域の伝統芸能や伝統文化に精通した協働活動支援員を派遣する。 例）だんごさし、和太鼓、中村彼岸獅子等	当該事業の実施校の増加により、子どもたちが地域文化等に触れ、郷土愛の醸成に寄与するため、事業の拡充を図る。	児童生徒が地域の伝統芸能や伝統文化等に触れることにより、郷土愛の醸成に寄与する。 また、地域住民との積極的な交流を通じて、安心して学習に取り組める環境の構築や地域全体の教育力の向上につなげる。	地域の伝統芸能や伝統文化等に係る協働活動支援員の派遣校数	5	件	6	3校	02 本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められる。 協働活動支援員の派遣数は前年より下回り、目標の半数にとどまった。 要因としては悪天候や熊の出没等による事業の中止や昨年度事業を実施していた学校が事業を取りやめたことが挙げられる。 アンケート調査では学校側が支援員とのやり取りに対し負担を感じている意見が多かったため改善し負担軽減を図りたい。	https://www.city.kitakata.fukushima.jp/soshiki/syougaku/62833.html https://cms.city.kitakata.fukushima.jp/uploaded/attachment/57625.pdf